



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和5年9月26日発行

合い言葉 **やればできる**

経験することの大切さ

校長 土岐 邦寿

9月10日に行われた第19回体育大会は多くの保護者、来賓の方々のご声援をいただき、無事終了することができました。ご協力いただき感謝申し上げます。また、今月末には総合的な学習の時間で取り組んでいるTJK（田代中自分で考え解決するプログラム）のまとめと発表会もあり、大忙しの月となりました。

体育大会では、1ヶ月以上前から各応援団長を中心に演舞の練習が始まりました。なかなか振り付けが覚えられず、かなり苦労したようですが、三年生の根気強いサポートにより、完成度の高いものに仕上げてくださいました。また、競技でも大会新記録が生まれました。みんなの心に残る素晴らしい大会となりました。感動をありがとう。

私の好きな番組にNHKの「魔改造の夜」（月末の木曜日19時30分～）があります。おもちゃや日用品を改造して25m走や高跳びをさせたりするという不思議な番組ですが、日本を代表する企業や大学、高専の人々が真剣に取り組み、議論、製作をし、競技に向かいます。製作時間は1ヶ月半、予算は5万円以内。結成されたチームで目標を定め、アイデアを出し合い、試作を重ねながら完成に近づけていきます。サークル的活動なので仕事や授業が終わった後になります。何回やってもうまくいかない、理論通りに動かない、耐久性がなくすぐ壊れるなど問題山積です。深夜になることも……。でも、投げ出しません。解決策をみんなで出し合います。万策尽きたら他の部署にいる先輩や教授に相談に行き、助言をもらいます。番組収録の直前まで全力を尽くす姿に毎回感動します。そこまで頑張るのに番組内の2回の試技では、動かなかったり、脱線して記録なしになったりと散々です。でも挑戦する中でチームの団結力が高まっていき、競技結果を凌駕する素晴らしいものを得ることができています。

体育大会が終わり、生徒はTJKの発表会に向けて準備をしていました。私も理科室で実験・観察をするグループをサポートするため入りました。田代で生活する中、疑問に思っていることや地域おこしのため特産物を活用できないか考える生徒の姿を見ることができました。発表会直前まで試行錯誤していました。25日は生徒一人一人が持ち時間4分間でプレゼンテーション（発表）をしていきます。例を挙げますと、田代の町並みがどのように変わったのか、田代茶を使った商品（クッキー、紅茶、アロマポット等）、豊富な竹を使った商品（消臭剤、灯籠、箒等）、養蜂をするための巣箱作成、田代のイメージソングなど、ここでは紹介しきれないほど多岐にわたり、内容も素晴らしいものばかりでした。中には十分な結果を得ることができなかったと発表している生徒もいましたが、課題点をしっかり分析しており、次へのチャレンジにつながる熱意が見られました。これらのアイデアと実行力は将来、地域おこしに役に立つことだと思います。これからも田代の子たちは新しいことに挑戦していきます。大いに期待していただくとともに、皆様の温かいサポートをよろしくお願いいたします。



TJK・お茶菓子の試食